

会議録

| | |
|--------------------|---|
| 会議の名称 | 平成30年度第2回加東市健康づくり推進協議会 |
| 開催日時 | 平成31年 3月19日(火) 13時30分から14時50分まで |
| 開催場所 | 加東市保健センター 健康教育室1 |
| 議長の氏名 (長濱秀仁) | |
| 出席及び欠席委員の氏名 | 曾野瑞弘 藤井信一 大竹啓夫 亀山美矢子 山本貞江 下山絹子 藤原路寛 生田幸良 山本忠志 |
| 欠席委員の氏名 | 武中千鶴子 藤井敬吾 松本多美子 |
| 説明のため出席した者の職氏名 | |
| 出席した事務局職員の氏名及びその職名 | 健康課 (課長) 細川公代 (副課長) 高井玲子 (係長) 下崎ユカ、岩崎香織、櫛原ひろみ |
| 1 開会 | 事務局より定足数の確認を行い、第2回協議会が成立することを報告した。 議事録署名人を、藤原委員と生田委員に決定した。 |
| 2 議長あいさつ | |
| 3 議事 | (1) 平成30年度保健事業の実施状況について 事務局から重点事業や新規事業について説明を行った。 (2) 平成31年度保健事業(案)について 事務局から重点事業を中心に説明を行った。 (3) 加東市健康増進計画等策定の進捗状況について 平成31年2月27日に策定委員長から、自殺対策計画の市長答申が行われた。 健康増進計画は、平成30、31年度の2か年で現計画の評価、次期計画の策定予定としており、30年度はアンケート調査、パブリックコメントを実施した。 【質疑応答】 <u>平成30年度保健事業の実施状況について</u> 委員: 20ページのパピママクラスで今年から妊婦歯科健診が行われるようになったが 14人の実績とは何人が参加されてこの実績数なのか。 |

事務局：14人は、9月29日の参加者数で、2回目の2月23日には26名が受診され、今年度は計40名が妊婦歯科健診を受けられた。

委員：加東市は自殺数が全国の平均と比べて多いが、うつ、自殺未遂者への相談支援を実施したと記載がありますが、何人に実施したのか。

事務局：30年度の実績はまだ出ていませんが、29年度の相談実績は、電話118件 来所面接74件、訪問27件、ケース会議が17件となっている。

委員：この人数は他市と比較して多いのか。

事務局：このような相談件数は県のデータにも出ていないので、他市と比較ができないのでわかりません。先ほどの件数は健康課で受付している件数となる。社会福祉課や高齢者においてはケアマネや地域包括担当者に相談されている。

相談しやすいところで相談をしていただける体制づくりの整備が必要と考える。

委員：国の風しん対策として、39歳から56歳に対して助成すると言われているが、加東市の場合は実施できる状況か。また、周知方法は考えているのか。

事務局：市としまして平成31年度事業で、国の方針どおり対象者を昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの抗体保有率の低い世代の方を対象として、抗体検査と予防接種を実施する予定にしている。対象者全ての方に平成31年度に送るのではなく、その中でも特に抗体保有率の低い世代の昭和47年4月から昭和54年4月の7学年において先行してクーポンを送ります。ただ、そのほかの対象の年齢の方についても、抗体検査を希望される方については申し出があればクーポンを交付する。クーポンは個別に送付し、周知は広報等で行います。

委員：風しんの先天性風疹症候群というのは怖いもので、今の対象年齢の配偶者が妊娠する可能性のある年齢と近いので、その年齢層の配偶者である男性の方にもっと手を広げて、受けやすいような体制づくりをお願いしたい。

事務局：一番の最優先は乳幼児、妊娠を希望される女性やその家族の方と思われます。国のほうもそのあたりのワクチンの供給については十分見ているということなので、一番最優先するところは、先述の対象者ということになります。そこは検討の上、実施をしていきたいと思っております。

委員：それと、もう一点、2ページの、私もよく患者さんに紹介しているサンサンチャレンジです。実績を見ると、約3分の1以上に減っている。平成29年度の951名が、今年度250名に減っている理由を教えてください。

事務局：平成19年からサンサンチャレンジ事業を始めてから12年目になります。以前は参加された方が一度減量されてもリバウンドをされたり、継続してリバウンド防

止のために登録していただいているという方が多数あり、自動継続として人数をカウントしていた。新規で登録される方は例年50人前後で、それ以外の方はほとんど継続の方で、その中にご自身でチャレンジを休んでおられるような方もあり、今年度は、参加意思のあった方のみを対象にさせていただきました。このような理由で今年度の参加者は減ったが、今後は過去に参加歴のある方への声かけを行いたい。

委員：私は今年度初めてサンサンチャレンジに参加しました。きっかけは、知人から誘いで、3人で取り組み、3か月で6キロ痩せた。1人ではなかなかできないが、3人で切磋琢磨して一緒にやれば、継続できることを実感した。私以外の2人は食事制限をしていたが、私は白米が大好きで、どちらかという食べて運動して痩せていった。体重をグラフ化すると、体重が減っていくのがひと目でわかり、その減っていくのが嬉しくなり、それでどんどん減ってきたら、これは続けなくてはいけないと思うようになった。朝と夜は必ず体重計に乗り、体が痩せていくその期間は心も落ちついていたという気がしたので、個人的にはとてもいい取組だと思った。

次に9ページのうつ・自殺予防対策のところ、中学生は思春期の時期で、中にはリストカット、自傷行為をする生徒もいる。過去に健康課を通じてこちらの医療センターのほうにつなげたという事例もある。本当にありがたく、今後もつなぐという役目を引き続きしていただきたい。

15ページの和食推進では、市を挙げての推進は3年目となり、学校教育課でも主に給食センターが担当して和食給食イベントを年に3回やっている。特に、いい日本食と読める、11月24日に合わせて行う時は、社高校の生徒と一緒に卵焼きをつくる実習をしたり、給食センターの職員が和食やだしのうまみについての講演をしたりして、その時期は特に盛り上がっている。評価指標の和食コンテストの応募数について、7月の第1協議会の時に、事務局が非常に不安がっていたが、54人の応募がありよかった。いい取組をされたと思う。

平成31年度保健事業（案）について

委員：パパママクラスの妊婦歯科健診について、参加される妊婦さんは母子健康手帳で歯科健診を受けているかを把握し、次年度から教室等で受けていなくても、歯科医院で受けている方を合わせた受診率を確認できたらと思う。今はマイナス1歳からの予防ということが大切で、胎児のうちから歯の健康に気をつけるよう言われている。歯科健診がない月に参加の方で妊婦歯科健診を受けられてない方は、かかりつけ歯科医院に受診を勧めていただきたい。

事務局：パパママクラスでは歯科受診が母子健康手帳で確認できるので、次年度から取り入れていきたい。先ほどの胎児のうちからという点では、今、母子健康手帳交付時に歯科受診とかかりつけ歯科医の確認、受診勧奨をしているので、そちらのほうはまた力を入れて実施をしたい。

委員：来年度から成人の風しん予防接種が始まるということで、抗体検査をして、抗体の低い方、もしくは陰性の方においては、無料で接種することになると思うが、その抗体検査の費用はどうなるのか。それは、どのような形でされるのか。

事務局：抗体検査の費用については、全国統一の費用となっている。

委員：医療機関でまず検査をして、その結果で予防接種をするのか。どこの医療機関でも検査はできるのか。

事務局：抗体検査は実施医療機関のほか、市が実施するまちぐるみ総合健診、対象が働く世代の方であり、職場健診においても実施が可能。この成人の風しん抗体検査は、働く世代が居住地以外でも抗体検査や予防接種が受けられるように全国知事会と日本医師会との集合契約をしている。

加東市健康増進計画等策定の進捗状況について

委員：加東市の自殺の死亡率は、全国や兵庫県の中では高いので、計画で特に修正や意見がないが、計画の18ページに加東市自殺対策推進本部を新たに設置されている、庁内での連携やネットワークの強化を行い、どうつないでいくかの流れをフロー図等にできるともう少し確実につなげたり、支援につながったりすると思う。各課の相談件数や、内容などを庁内で共有して現状把握しながら、確実に訴えがある方の支援を全体で考えていくとよいと思う。

委員：尼崎市でいじめを苦に中学生が自殺して第三者委員会が開かれていたという事件があった。生徒はSOSを出していたと思うが、十分に聞き取れなかったのではと思う。学校もいじめ調査などを行い、慎重に扱うようにとは指示をしているが、研修などもやっていくべきだと考えています。自傷行為等をする生徒もいるので、その時は健康課や健康福祉事務所などと連携をとり、ネットワークを大事にしていくべきだと思う。

議長：ほかにどなたかございませんか。意見がないようですので、以上をもちまして本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。皆様、御協力をいただきましてありがとうございました。

【閉会】

・曾野副会長閉会の言葉

3 その他

次回協議会 2019年6月～7月頃

令和元年 5月17日

議長

西塔孝仁

印



署名人

生田幸良

印



署名人

藤原路寛

印

